

地域でこんな場所が人が活動が!!

活動報告その1

地域住民で運営する貸部屋があります。ご存じでしたか？

鴨居ケアプラザ併設施設 「GPホール」

昨年11月1日にオープンした鴨居ケアプラザ内に、地区社会福祉協議会(注1)や地域住民の活動場所を提供することを目的に作られた「GPホール」があります。

地域の団体で利用登録をすると、鴨居・竹山・白山地区社会福祉協議会(以下「地区社協」)の関係団体は1時間200円、それ以外の団体は1時間300円の利用料で、9:00~23:00まで、ホールを利用することができます。

この利用料は、ホールの光熱費など運営にかかる経費に当てられます。

また、運営委員長を始めとして、運営委員を地域住民の方が務め、そこで話し合いを行い、部屋の貸出についてルールを決めています。

つまり、地域住民が「活動場所」の運営を主体的に行っているのです。

これまで地域団体、特に地区社協が活動する上で、「活動場所」の確保は大きな課題でした。

このような住民運営型の「福祉の活動場所」が確保されることは緑区内ではじめてです。

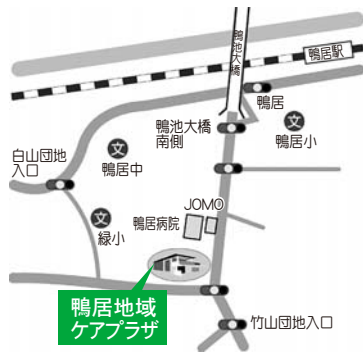
ここから、地域に役立つ福祉活動がたくさん生まれてくると良いですね。

(注1) 地区社会福祉協議会

地域が抱える様々な福祉の問題をみんなの問題として考え・話し合い、そして計画を立て解決にあたる任意団体です。

地域の個人や団体が会員となり、成り立っています。「ご近所の底力」福祉版とお考えください。

GPホールとは、社会福祉法人清光会 大矢清理事長の今後のさらなる福祉事業発展の願いのもと、地域の皆さまに使ってもらうために私費を投じ設置されたものです。GPホールの「GP」の名称は、ドイツ語のグレーサー(「大きい」の意)、プファイル(「矢」の意)の頭文字をとったもので、日本語では「大矢」という意味です。



連絡先
緑区鴨居 5-29-8
横浜市鴨居地域ケアプラザ
電話：930-1122

活動報告その2

山下地域支え合いの会

緑区の北側に位置する北八朔~青砥などの山下地区、ここでの地域活動のひとつ、「山下地域支え合いの会」では地区のボランティア相談窓口の整備が進められています。

会のメンバーは、「サポートが必要になった人や何かボランティアしたい人がつながる身近な窓口がほしい」、「山下地区での仲間や活躍の場を求め人々が集まれる場がほしい」そんな思いを、健康体操や書道、防犯パトロール、お話し相手などの活動を自主的に続けるなかで強くなりました。

そしてその思いを実現するため、平成18年度から緑区チャレンジ提案事業の指定を受けて、地域活動団体・関係機関と協働し、ボランティアを必要とする人・したい人へのアンケート調査やボランティア講座の開催などに取り組んでいます。ボランティア講座としては、平成19年11月、12月に活動の心得や先輩の体験談、施設「愛」の見学を実施し、それぞれ20名以上の参加がありました。

今後は山下連合自治会や山下地区社会福祉協議会のリハビリ教室や昼食会をはじめ、すでに地区内で根付いている地域活動との連携、地域の施設・機関との交流やボランティア派遣などにも力を入れていきます。

地区住民同士が持ちつ持たれつ生き生きと過ごせる仕組みを自分たちの手でつくっていききたい、そんな意欲にあふれた「山下地域支え合いの会」から目が離せません。



ボランティア講座第2回・施設「愛」見学後の質疑応答の様子です

活動報告その3

新治西部地区社協研修

新治西部地区社会福祉協議会(以下「新治西部地区社協」)では、高齢者のための会食会・見守り活動を行っています。このような事業を行う場合、利用者の個人情報把握する必要があります。

平成17年4月1日から個人情報保護法が全面施行され、個人情報を適正に取り扱うことに対する市民や団体の意識が高まってきています。

こうした背景の中で、新治西部地区社協は、緑区社会福祉協議会と共同で、個人情報保護法をテーマにした研修を平成19年12月21日(金)十日市場自治会館で実施しました。パソコン等で個人情報を管理する場合、万一インターネット上に情報が流出してしまうと、回収は不可能であることなどが話され、参加者は情報管理の難しさや重要性を再確認していました。



研修の様子です

区社協 新助成金制度のご案内

「緑いきいき助成金」が20年度からスタートします。

平成20年度から、今までの各種助成金を一本化した「緑いきいき助成金」となります。申請書を何回も書くのが大変、助成金に透明性、公平性を持たせて欲しいという声を踏まえて、19年度に各団体の方に集まっていたいただき、準備してきました。4月から公募する予定です。ご期待ください。

説明会のご案内

新しい助成金ですので助成内容、手続きが今までと変わります。説明会には必ずご出席ください。

日時 平成20年3月17日(月)13:00から
平成20年3月18日(火)10:00から
場所 ハーモニーみどり2階 多目的研修室
参加申込 FAX 934-4355 または、葉書で緑区社協宛に団体名、参加する日、連絡先を記入の上お送りください。

緑いきいき助成金とは

より豊かな社会の実現のために、区内で行われる非営利な地域福祉推進事業や障がい福祉推進事業を支援するための助成金です。

- ① 助成金原資： 緑区社協共同募金配分金
緑区社協国際障がい者年基金助成金
横浜市社協よこはまふれあい助成金
- ② 助成対象事業
 - (1) 何らかの支援を必要とする人々に対する在宅福祉保健事業
 - (2) 障がい児者及びその家族が行う、障がい者の自立支援並びに社会参加のための事業
 - (3) 福祉のまちづくり推進のための事業
 - (4) 調査研究、新規事業の立ち上げ資金、先駆的事业の取り組み資金
- ③ 申請方法
指定の申請様式にご記入の上申請していただくこととなりますが、記入方法、申請時期等の詳細は、説明会で周知しますので必ずご出席ください。
- ④ 配分決定
本会「緑いきいき助成金運営委員会」にて審査され配分します。

区社協送迎車と、新コーディネーターをご紹介します!

緑区社協では、高齢や障がい等で通常の交通機関の利用が困難な方の移動を支援するため、ボランティアの運転で車による送迎サービスを行っています。〈ご利用・ボランティア活動に関するお問い合わせはお気軽にどうぞ。〉



車椅子のまま乗れる福祉車両3台で運行しています。



伊丸
コーディネーター



米澤
コーディネーター

2名の
コーディネーターが
交代で勤務
しています。

ありがとうございます

～19年度新規正会員をご紹介します～

緑区で社会福祉を目的とする事業や活動を展開されているさまざまな事業者、団体に、是非会員になっていただきたいと考えています。福祉に関係する施設・団体・機関・関係者から現在143団体の皆さまに、本会正会員としてご参加いただき、同じ課題などを抱える種別団体ごとに部会や会議を構成し、事業を行っています。

公私社会福祉事業施設(第1種会員)

特別養護老人ホーム「しょうじゅの里三保」
医療法人社団三喜会「ライフプラザ新緑」
社会福祉法人怡土福祉会「介護老人福祉施設北八朔」

障害者団体等当事者団体(第5種会員)

NPO法人みどり福祉ホーム

その他社会福祉に関係のある団体(第7種会員)

NPO法人「グリーンママ」、「緑区薬剤師会」、
「横浜みどりライオンズクラブ」

～新規賛助会員をご紹介します～

平成19年度 賛助会員(19年8月23日～12月28日までに入会いただいた賛助会員です)

(順不同・敬称略)

〔個人〕高橋 昌三郎
〔団体・企業〕藤栄電機工業(株)